



右から今富役員、森本会長、福田役員



総合型地域スポーツクラブ

川中スポーツ振興会

スポーツの健全な普及や地域でのスポーツの振興に顕著な成果を上げた関係者・団体として、令和3年度生涯スポーツ優良団体に選ばれ、文部科学大臣から表彰されました。



▲振興会内のクラブ「川中スポーツ少年団軟式野球部」主催の大会で、選手宣誓を受ける森本さん。

**体を動かし
健康を長く保つ**

スポーツでまちづくり

「長年の会員の皆さんの活動や努力が形になりました。川中スポーツ振興会の3代目会長・森本茂樹さんは、大臣表彰をこう振り返ります。

振興会は、明るく豊かなまちづくりや多世代・多目的のクラブ活動の育成を目的とした取り組みをしています。活動状況を尋ねると、「所属の少年野球はこの夏全国大会に出場しますし、ミニバスも強いです。振興会には全部で13のスポーツクラブがありますが、

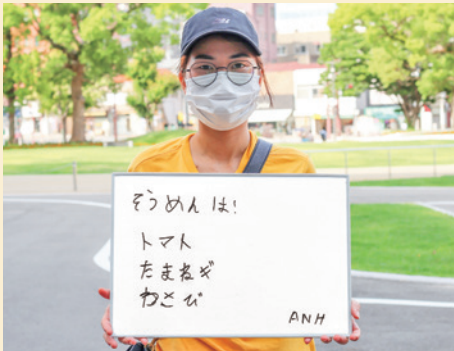


どれも積極的に活動されていますよ。また、恒例の地域イベントには、『川中ふれあい運動会』があります。楽しみにしている人も多いこの運動会は、地域にとって日ごろ会えない近所の人に来て、お話できるチャンスなんです。一番コミュニティがある場。今はコロナ禍なので開催できません。みんな『ワー』とできないのがつらいですね」

コロナ禍でも365日 ラジオ体操

「コロナで施設利用が制限され、スポーツにとって不利に働きました。どこも同じだと思いますが、人が離れたんです。人ってどうしても出不精になりますよね。これから盛り上げなければいけません。スポーツを始めようと考えている方はぜひ、振興会内のクラブ活動に参加してみてください」と笑顔で話します。そんな逆風にも負けず、活動し続けたラジオ体操を取材しました。朝6時30分前、澄んだ空気に伝う「おはようございます」

私のそうめん薬味3選



▶「川中ふれあい運動会」の絵。川中中央公園のガレージ裏に描かれています。



◀適度な距離を保ちラジオ体操を行います。



▶体操を前で実演する今富莞爾さん(川中健康ラジオ体操部)。

の明るい声。友達や近所の人と楽しそうに話す人、川中中央公園周辺を足を高く上げ、散歩する人たちがいました。体操は、好きな場所で、自分の体が動く範囲で。第1・第2体操を終え、さらに追加の体操も。年間を通じて毎日実施しているラジオ体操は、自由に参加でき、より多くの方に運動に参加する機会や交流の機会を生み続けています。「ラジオ体操は雨の日だって公民館の軒下とかでもできますからね。毎日行われていれば、来ようかという気になる人もいるかもしれません。皆勤賞の人もいて、すごいことだと思います」

一番大事なことは
スポーツを続けること

森本さんが会員の方々々に期待することを伺いました。「やっぱりスポーツを継続してもらうことです。スポーツに下手とか上手いとかは関係ないです。勝負のためにスポーツをやることもありませんが、『継続する、体が動く、健康を保てる』そうあってほしいです。イベントを待ち望んでいる方もおられると思いますので、その想いを実現したいです」

▼振興会への問い合わせは、森本会長(☎090-712110753)へ。

Editor's note 編集後記

■野鳥を観察し、ハンモックで本を読み、竹の飯盒でご飯を炊き、湖畔キャンドルを見つめる。そんなすてきなキャンプができる下関！ 廣野 ■Nintendo Switchリングフィットで鍛錬する私、健やかな生活まで何か足りない。ラジオ体操に解答があった。朝の外気と継続。西村 ■後輩部員が「話しかけられない」というほどの續さんの集中心。実際に木材を削る姿に、私も時間を忘れ見とれていました。宮村